

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 4年 3月 30日

事業所名 はぐはぐ子ども村高鍋

保護者等数(児童数)43

回収数36

割合

84%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制 整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	34				2 コロナ禍で見学が出来ていないので状況が分からない。	R2.4よりふれあい交流センターの指定管理を受け子ども達の活動スペースを広くし課題ごとに部屋を分ける事で子ども達が落ち着いて過ごせるように取り組んでいる。時には屋外に出て活動したりしている。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	31	1		4		最低基準以上の人員を配置している。公認心理師や理学療法士、言語聴覚士などの専門家による定期的な観察により助言をもらい、支援に役立てている。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境*1になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	31	3		2		既存の施設を借りての設備なので、トイレなどの修繕は難しいが、スペースの工夫等に取り組んでいる。子どもの特性に合わせて写真付きの電を準備したり、カードで見通しを伝え活動しやすい様に工夫するようにしている。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	34	1		1		間仕切りなどで空間を分けたり、活動に合わせて大きくしたりしている。玩具・室内の清掃は感染経路にもなる為、こまめに清掃、消毒をしている。
適切な 支援の 提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画*2が作成されているか	35					個別に計画を見直し、アセスメント徴収、職員間での評価、原案作成、会議で協議してから保護者へお伝えしている。
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	36					子どもの日々の活動から困り感をどのようにしたら本児が自主的に活動ができるかを取り組む中で見つけ出し成功体験が増え自己効力感が育まれるよう取り組むようにしている。
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	36					職員で朝礼や療育後の振り返り、ケース会議で共有し次の目標の前に評価を行い次回支援を行っている。
	8	活動プログラム*3が固定化しないよう工夫されているか	31	4		1		基本3部構成(活動の時間・静の時間・自由遊び)は土台であるが、人との関りや、活動内容などは個別に合わせて、専門家等からアドバイスをもらいながら色々なプログラムが経験できるようにしている。サーキットは成長に合わせて2~3ヶ月に一回変更している。
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	30	2	1	3		直接交流はないが、併用通園をしている児童が多い為、日常的に色々な交流はある。事業所では年に2回の合同行事や曜日で利用児童が変動する中で、他の保育園や幼稚園の子ども達が集まって活動に取り組んでいるが今年度はコロナの影響で思うように取り組めていない。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
保護者への説明等	10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	36					契約の時に運営規定、重要事項説明等行っている。一昨年の反省からより丁寧に説明を加えたことで評価でご理解いただけている数字になり嬉しく思う。今後も丁寧な説明を続けていく。
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	36					ガイドラインのねらいについての説明が不足していると思うので昨年に続けて説明していく。
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング*4等)が行われているか	25	5	3	3		代表が行っているペアレントトレーニングの紹介をしたが、今年度は個別対応での実施だった。また、コロナの影響で母子通園も中止が多くなり思うように進まなかった為、新しい生活様式を取り入れながら新たなやり方を模索中。
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていくか	27	7	2		<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナで母子通園ができない期間だったのだが、人事の移動があり新しく担当となった職員から子どもの様子を聞いた際に子どもの悪い部分ばかりを指摘されたように感じ、不信感があった。前任者からの引継ぎや新しい担当の観察による結果による報告ならば納得がいったと思う。家での様子を聞くときも休日等は避けてほしい。</li> <li>・児童発達支援管理責任者などの変更に関わらず状況がよくわかるようになって欲しい。</li> <li>・送迎時など中々話をする時間がないので、もう少しお互いに情報共有することができればなあと感じます。</li> </ul>	4月、人事異動により、管理者や担当児発管が変わった。何かあれば、電話やメールで連絡を差し上げているが、コロナ禍で母子通園も開かず、指摘の通り、十分な情報の共有、コミュニケーションの場が持てなかった。改善に努めていきたい。母子通園が開催できない状況の中、見学の希望があれば可能である事はお伝えしているが、日頃から連絡が取りやすい関係性を築きたい。
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	28	4	2	2		個別面談、母子通園の他に、希望の方へは見学の対応や電話、メールなどで今後も支援をしていきたい。定期的にモニタリングを行い記録をしていく。
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	12	8	4	12	コロナ等により、開催されていない。	母子通園や、合同行事の際に保護者の方の出会いの場になればとレクリエーションやBBQを企画していたが、今年度はコロナの影響で出会いの場となる回数がほとんどなかった。
	16 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	31	3	1	1	面談予定の急な変更があり、こちらとしては困ったことがありました。約束をきちんとしていたが、当日の変更は避けてほしい。	やむを得ず急な日程などの変更をお願いする場合は、調節f電話などで理由をきちんとお話しし、ご理解とご協力をいただけるように努める。
	17 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	32	2	1	1		お子さんの大きな変化や成長があった時には、メールや電話などでお知らせをするようにしている。また、事業所での出来事(よかった事)が保護者の耳に届き、自宅でも褒めてもらえることでお子さんの励みになればよいと考えている。コロナ禍で見学もままならない状況なので、機会を見つけて、様子をお知らせしていきたい。
	18 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	33	2		1		毎月のお便りで写真を掲載し様子をお知らせしている。自己評価については一昨年からホームページに掲載している。今年度も引き続き掲載していく。また、質問への回答など改善策を文書で配信する。
19 個人情報の取り扱いに十分注意されているか	35				1	個人情報の取り扱いについては、職員で徹底しているが、今後も事業所間や相談支援員との情報共有の際は保護者承諾の元、十分配慮していく。	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
非常時等の 対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	25	2	1	8		契約の時など初めに避難場所や緊急時の対応を説明している。防犯、感染症対応などしっかりとしたマニュアルを定め、次年度には保護者の方と共有でき、いざという時に連携できるよう整えていく。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	26	3		7		災害時の流れや、主な担当など職員間で決めてマップに毎月訓練をしている。また、今年度は非常用の水、避難バック、避難食を準備した。年度初めに異動などがあつた際、職員間の引継ぎなどの周知が難しかったため、今後も定期的に確認をしていく。
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	32	3		1	切り替えが難しく登園を嫌がる姿は今はなくなりましたが、まだ楽しみまでは至っていません。 ・行くときは涙が出る事もあるが、帰ってくると「楽しかった」と言っている。	子ども達の日々の変化を感じながら、自宅や保育園からの切り替えに時間がかかったりする時でも、送迎車の中で切り替えが出来たり、到着する時には笑顔になれる様子を見守っている。また、保護者の方に安心してもらえるよう母子通園、個別支援以外でもメールや電話で対応に努めている。
	23	事業所の支援に満足しているか	33	2		1	・面談の日程変更以外は満足しております。 ・もう少し子どもの様子が知りたい。	コロナ禍で見学がままならない環境ではあるが、予約制で見学をしていただくなど、コロナ禍での見学方法を検討していく。メール等でもお伝え出来るように努めていく。 個々に合わせた目標を計画し、子どもに無理がなく自己達成感が積めるように取組む努力をしていきたい。今後もその子その子の特性や成長に合わせて対応を考え、保護者の方と協力をしながら楽しく通所してもらえるよう配慮していく。それぞれの特性や、環境の変化の不安定さ等もふまえて、その子にあった支援がされているのかを常に検討、見直しをしながら今後も運営していく。

\*1 この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすること。

\*2 児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

\*3 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

\*4 保護者が子どもの行動を観察して障がいの特性を理解したり、障がいの特性を踏まえた褒め方等を学ぶこと。子どもが適切な行動を獲得することを目標としている。